

東日本大震災 関連情報（第 22 報）

平成 23 年 9 月 28 日
全国老人クラブ連合会

●支援活動

1. 復興支援バザーを開催 [福岡県 ^{のおがた}直方市老連女性部長 千々和 恵美子]

直方市老連では『思いを被災地に届けたい』と、3 か月かけて復興支援バザーを計画しました。女性部のメンバーを中心に各家庭からバザーに出す品を持ち寄り、単位クラブの協力もあって、軽トラック 2 台分ほどの品物が集まりました。

事前準備の値札付けや広報活動には、女性部のメンバー以外に男性軍もお手伝いに加わり、一致団結することができました。

バザー当日は、直方市のお隣の飯塚市や田川市からも来場されて、あっという間に売り切れてしまいました。来場された方々の評判も良く、是非また開催してくださいとの声が多く聞かれました。

また、『被災地の仲間に元気を届けよう!』と市老連の役員を中心に元気袋を作成しました。「絵手紙」を書いて元気袋に同封し、少しでも被災地の皆さんへ元気を届けられたらと思っております。

私も現在 80 歳。少しずつではありますが、これからも私なりに・・いつまでも被災地に心を寄せ、厳しい状況に立ち向かう皆様を応援していきます。

(別添 バザーの西日本新聞記事と写真、元気袋と絵手紙メッセージの写真 参照)

2. 元気袋発送準備が、地元テレビで報道される [福岡市老連]

市老連では、9 月 21 日に役員、女性部の 10 名が元気袋の発送準備をしました。元気袋の内容は、会員から集めたタオルをはじめ、歯ブラシ、ウェットティッシュ、企業からの提供品です。岩手県内の被災された 13 老連に向けて、それぞれ元気袋 100 袋分を箱詰めしました。この模様は九州朝日放送の取材があり、当日夕方のニュースで放映されました。(放映権のことから、準備作業の写真を添付しています。)